

## タイムスケジュール 会津若松ワシントンホテル 2階 双鶴の間

13:30~13:35

### 開会式

挨拶 会津医療センター開設10周年記念事業実行委員会 委員長 大田 雅嗣

13:30

13:35~13:55

### 消化器病診療 チームで立ち向かう

演者:会津医療センター小腸・大腸・肛門科学講座  
教授 富樫 一智

資料1

13:55~14:15

### 会津医療センターにおける漢方医学研究(湯液・生薬・鍼灸)の軌跡

演者:会津医療センター漢方医学講座  
教授兼附属研究所漢方医学研究室長 鈴木 雅雄

資料2

14:00

14:15~14:35

### 元気、長生き、運動器!!

—整形外科・脊椎外科学講座とリハビリテーション科の歩みとこれから—

演者:会津医療センター病院長特別補佐兼整形外科・脊椎外科学講座  
教授 白土 修  
演者:会津医療センター附属病院中央診療部門リハビリテーション部  
主任医療技師 半谷 智辰 遠藤 達矢

資料3

14:35~14:50

### 外科学講座には「呼吸器外科」もあるんです

演者:会津医療センター外科学講座  
教授 樋口 光徳

資料4

15:00

14:50~15:10

### 看護部のこれまでのあゆみ

演者:会津医療センター附属病院  
副病院長(業務)兼看護部長 山田 香代子

資料5

質疑応答  
休憩

15:30~16:30

### 基調講演 時代とともに変化するスポーツ

講師 佐藤 敦之 様  
(中国電力陸上部ヘッドコーチ(2008年北京オリンピック マラソン日本代表))  
座長:会津医療センター病院長特別補佐兼整形外科・脊椎外科学講座  
教授 白土 修

資料6

16:00

閉会

基調講演 講師

## 佐藤 敦之 氏



中国電力陸上部ヘッドコーチ  
(2008年北京オリンピックマラソン日本代表)  
会津若松市出身  
ハーフマラソン元日本男子記録保持者(1時間0分25秒)。ほか主な実績に各男子マラソン種目で、2008年北京オリンピック日本代表、2009年世界陸上ベルリン大会6位入賞、2003年世界陸上パリ大会10位など。

この10年でシューズ、時計、ウェア、ドリンクなどの進化により、パフォーマンスの飛躍的向上がなされています。そのことによりトレーニングの捉え方も大きく変化していく時代となっています。また、ランニングは競技志向、健康志向と目指す目的ごとにより深くカスタマイズできる時代になりました。そのあたりを深掘りしてお話しできればと考えております。

# 公立大学法人 福島県立医科大学

## 会津医療センター 開設10周年 記念事業

公立大学法人 福島県立医科大学会津医療センター  
令和5年(2023年)7月22日



会津医療センターは、福島県立医科大学の附属施設として開設しました。  
診療・教育・研究機能を備えた施設として、地元の医療機関との機能分担、相互補完、連携を行いながら、会津・南会津地域の医療を支えています。

|       |  |
|-------|--|
| 開設日   | 平成25年(2013年)5月12日  |
| 所在地   | 福島県会津若松市河東町谷沢字前田21番地2  |
| コンセプト | <b>「福島モデル」と呼ばれるような医療システムの創生</b><br>・大学施設としての教育・研究・診療機能の整備<br>・講座設置(13講座・1部門)による優秀な人材の確保<br>・研究室設置(臨床疫学、医療工学、漢方医学)<br>・臨床研修医(初期研修)、専攻医(後期研修)の積極受入                   |
| 設置診療科 | 総合内科、漢方内科、漢方外科、循環器内科、血液内科、消化器内科、糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科、感染症・呼吸器内科、脳神経内科、心身医療科、小腸・大腸内科、大腸肛門外科、外科、呼吸器外科、整形外科・脊椎外科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、歯科、リハビリテーション科、緩和ケア科、心臓血管外科 |
| 病床数   | 226床   |



## 理事長ごあいさつ 竹之下 誠一

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センターは、平成25年(2013)5月に開設し、本年5月で10周年を迎えることができました。

これまで当センターの運営に多大な御支援、御協力をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。

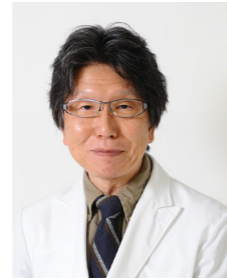
この間、当センターは大学附属病院として専門性の高い医療を提供するとともに、「血液内科」、「漢方内科」など会津地域に不足する診療科を設置したほか、「総合内科」や「看護専門外来」を設置し、計26の診療科で患者の視点に立った医療の提供に努めてまいりました。

また、地域医療を支える中核病院として、他医療機関への診療応援のほか、令和3年には三島町に「奥会津在宅医療支援センター」を設置し、奥会津における在宅医療の支援を行うなど、医師不足が深刻となっている会津地域の医療の維持・発展に力を尽くしてまいりました。

大学の使命である医療人材育成にも積極的に取り組み、附属病院としての教育・研究機能を生かし、県内外から初期研修医や専攻医を積極的に受け入れているほか、外部講師によるセミナー開催や我が国では初めてとなる鍼灸研修制度を有するなど、充実した研修制度は高い評価を得ております。

加えて、地域の医療機関との連携も進め、近隣の医療機関と機能分担し、相互に補完することにより、会津地域の医療機関全体で地域の医療を見守る地域完結型の医療を提供しているところ です。

10年の節目を迎えたいま、新型コロナウイルスを始めとする新たな感染症への対応に加え、高齢化が進む会津地域における医療提供のあり方や、次世代を担う人材の育成等、様々な課題を解決しながら、これからも安全で安心な医療を提供できるよう、職員一同、一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き、御理解と御協力をお願いいたします。



## 病院長ごあいさつ 大田 雅嗣

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター開設10周年記念シンポジウムにご参加いただき、誠にありがとうございます。

当センターは、旧県立会津総合病院と喜多方病院を統合し、新たに県立医科大学附属病院として設置され、2013年5月12日の開院以来、専門的な診療に特化した26の診療科で地域に根ざした医療を実践しております。さらに、患者支援センター、看護専門外来の開設等、地域の方々に対し、きめ細やかな包括的医療支援サービスを実施しております。

また、医大から診療支援を受けることにより、当センターから会津各地の医療機関に医師を派遣する体制を構築することができました。2020年7月には三島町に「奥会津在宅医療センター」を開設し、奥会津における在宅医療・介護を支援することで地域の医療に貢献してきました。

2020年2月からは、第二種感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症の治療及び感染拡大防止に努めてきました。未だ終息が見えないなか、これまでに蓄積した経験をもとに、各種感染症に対応してまいります。

開設から10年が経過したいま、次の10年に向けてさらなる発展を図っていきます。引き続き、近隣の医療機関との連携を図り専門性を活かすことにより、会津で完結できる医療を実践してまいります。人口の減少・高齢化が進むなか、医療支援をどのように進めるのかが今後の課題です。地域のニーズに合わせ、職員全員で考えていきたいと思 います。また会津の文化や風土を活かしつつ、最新の技術を用いた産学協同の取り組みを進めていきます。

大切なのは後継世代の育成です。院内全ての部署で専門性を活かした医療人の育成を行っており、会津地域における医療の進化に繋げていきたいと思 います。どうかこれからも会津医療センターをよろしく願 います。

## 10年の歩み

|              |   |
|--------------|---|
| 平成16年(2004年) | 福島県が県立病院の役割・機能・抜本的な改革方策を検討し、福島県立会津総合病院(病床数262床)と福島県立喜多方病院(病床数50床)の統合整備を決定。                      |
| 平成19年(2007年) | 福島県が福島県立医科大学に統合整備後の病院の附属病院化の検討を申し入れ。  |
| 平成20年(2008年) | 福島県立医科大学が統合整備後の病院の附属病院化を了承。   |
| 平成22年(2010年) | 会津医療センター準備室を設置  |
| 平成25年(2013年) | 福島県立医科大学附属機関として5月12日に開所。<br>高久史麿センター長、鈴木啓二病院長(初代)就任<br>第二種感染症指定医療機関に指定                          |
| 平成27年(2015年) | 病院機能評価機能種別版評価項目3rdG:Ver.1.0認定(1回目)  |
| 平成28年(2016年) | 呼吸器外科開設。肺がんを中心とした胸部悪性腫瘍等の疾患を中心に対応   |
| 平成30年(2018年) | 棟方充病院長(第2代)就任<br>「入院患者の口腔ケアに特化した診療」開始。会津若松歯科医師会・耶麻歯科医師会・新潟大学歯学部口腔外科教室の応援のもと、入院患者の口腔ケアに特化した診療を開始 |
| 令和元年(2019年)  | 大田雅嗣病院長(第3代)就任  |
| 令和2年(2020年)  | 福島県立宮下病院と連携して奥会津在宅医療センター開設。柳津町、三島町、金山町、昭和村に訪問診療、訪問看護を実施<br>病院機能評価機能種別版評価項目3rdG:Ver.2.0認定(2回目)   |
| 令和5年(2023年)  | 福島県立医科大学総合内科・総合診療医センターと連携し、総合診療専門研修プログラムの募集を開始  |